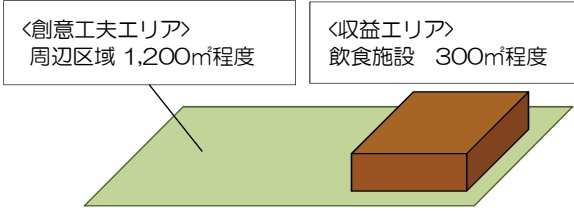


都立木場公園多面的活用プロジェクトについて

事業コンセプト

民間事業者が柔軟なアイデアやノウハウを活用して飲食施設を設置し、さらに周辺区域を活用した取組を行うことで、多様な来園者を惹きつける場を創出し、公園の新たな魅力や価値の向上に繋げる

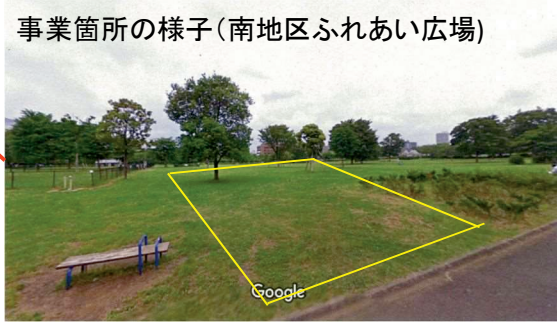
- 都において、公園の賑わいを「点」から「面」へと広げる初めての取組
- 飲食施設で生じた利益の一部を、周辺区域での取組に還元



事業箇所



【都立木場公園】
 所在地：江東区木場・平野他
 東京メトロ東西線「木場」
 徒歩10分
 開園年月日：平成4年6月1日
 開園面積：238,711.13㎡



事業者

株式会社 東急コミュニティー（東京都世田谷区用賀四丁目10番1号）

提案概要

- 「地域の居間」となり、公園利用を共創する場となる、屋上農園のある木造建築レストラン&カフェの設置
- グループ企業の活用や、周辺エリアの活動団体等と連携した活動を展開し、様々な利用者同士を細やかに紡ぐ取組

〈飲食店〉



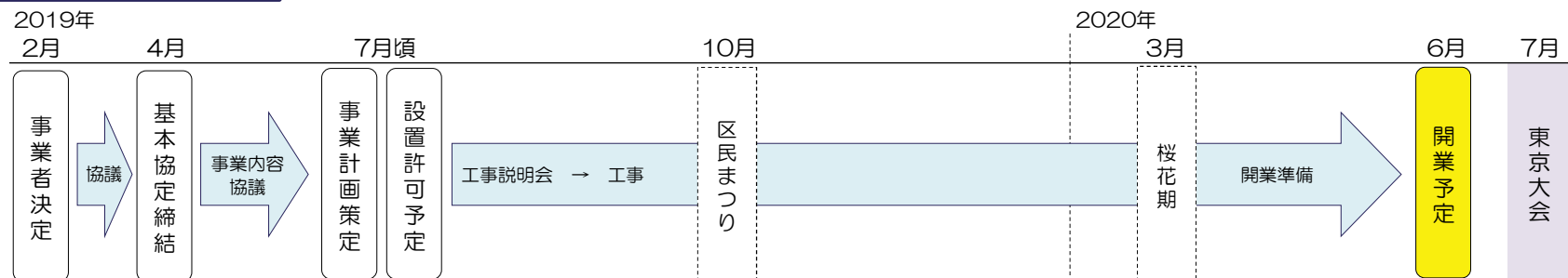
- ・産地直送の朝採旬菜を使用したメニューの提供（セルフサービス型）
- ・都内有名店のシェフと連携するなど、様々な公園利用者のニーズに応えられるメニューを開発・提供
- ・木場の歴史を継承する木造建築の店舗で、公園の緑と屋上農園とが連続する緑の景観を創出

〈その他の取組〉



- ・グループ企業の活用や地域の企業との連携により、木育講座や星空観察会等、様々な取組を実施
- ・避難場所に指定されている公園内の施設として、発災時には避難者や帰宅困難者等を支援
- ・屋上農園や江東区外にある農園での収穫体験を提供 等

開業までのスケジュール



マーケットサウンディング調査について

調査概要

- ◆目的 都立公園における多面的な活用を推進するにあたり、民間事業者との対話型個別ヒアリングを通じて、「公園ごとの市場性」「活用のアイデア」「参画しやすい事業条件」等について意見を聴取し、事業効果や実現可能性の高い事業につなげる。
- ◆対象者 対象公園(下図参照)において、公園の魅力や価値を高める施設の設置・運営を行う意向がある事業者
- ◆調査方法 ①公園ごとの参入意欲・活用イメージ等を書面で提出 ②提出した調査シートをもとに対話型個別ヒアリング実施
- ◆スケジュール 2019年5月16日 実施要領公表 ⇒ 8月上旬 応募受付 ⇒ 8～9月 対話型個別ヒアリング実施

対象公園



0130A4CM21「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を使用した。（承認番号 平22業使、第632号）」